

**佐久市の環境を未来へ「ツナグ」  
高校生ワークショップ  
実施報告書**

**令和4年8月**

**佐久市環境政策課**

# 目次

<b>1.高校生ワークショップの概要</b> .....	<b>1</b>
ワークショップの目的 .....	1
開催日程 .....	1
<b>2.高校生ワークショップ意見概要</b> .....	<b>2</b>
ワークショップ内容 .....	2
今後に向けて.....	10

# 1 高校生ワークショップの概要

## ワークショップの目的

市では現在、平成30年度を初年度とする第二次佐久市環境基本計画の改訂作業を進めており、市民の声を計画に反映させる一環として、将来を担う若い世代の意見やアイデアを募ることを目的としたワークショップを開催しました。2050年カーボンニュートラルの実現に向け、その頃には40代となり世の中を担っていくこととなる高校生からの意見を募り、「佐久市の環境の良いところ、悪いところ」・「市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントや情報発信のアイデア」について、ZOOM（WEBミーティングシステム）を活用した意見交換を行いました。

## 開催日程

開催日時	討議テーマ	参加者数
令和4年 8月9日（火） 10時～12時	<b>(全体説明)</b> ・佐久市の環境に関する取組み・方針 <b>(意見交換)</b> ・佐久市の環境の良いところ、悪いところ ・市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントや情報発信のアイデア	高校生 4名 事務局 2名 コンサル3名

参加高校：野沢南高等学校、野沢北高等学校、岩村田高等学校（3校）

## 2 高校生ワークショップ意見概要

### ワークショップ内容

#### ● 実施プログラム

- 1 開会あいさつ
- 2 討議テーマについて
  - (1) 討議テーマの説明（スライド説明）
  - (2) 自己紹介・意見交換

※参加者数の関係よりグループごとの意見交換は行わず、参加者全体での意見交換とした

- 3 閉会あいさつ

#### ● 説明スライド

高校生ワークショップ ● 本日のスケジュール	
1 開会あいさつ	5分程度
2 討議テーマについて	110分程度
(1) 討議テーマについてのスライド説明	5分程度
(2) グループセッション：自己紹介・意見交換	95分程度
(3) 各グループの意見発表	10分程度
3 閉会あいさつ	5分程度

佐久市の環境を未来へ「ツナグ」  
高校生ワークショップ

佐久市環境部環境政策課  
株式会社 知識経営研究所

#### ● 佐久市の環境に関する取組み・方針

- 佐久市では「第二次佐久市環境基本計画」という佐久市の環境や自然を守り、推進していくための方針をまとめています。
- この計画では「**水と緑きらめく自然を、みんなの力で未来に伝えるまち**」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。

↓

- しかし、近年の環境問題をめぐる変化は大きく、この計画を社会情勢に合わせて見直すこととしました。
  - ・カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）
  - ・気候変動への適応（環境への影響に備えること）
  - ・資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題

#### ● 皆様に考えていただきたいこと

地球温暖化による異常気象の頻発や食糧生産への影響、資源の枯渇、ごみの最終処分場の不足、海洋プラスチックなどの問題、生物多様性のバランスの崩壊、外来種の増加、みどりの減少、大気汚染や水質汚濁、ごみのポイ捨て……

私たちが暮らす佐久市は、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな環境の課題に直面しています。

このような課題に対応し、

「省エネのライフスタイルを未来に伝えるまち」  
「ごみを出さないライフスタイルを未来に伝えるまち」  
「生物多様性の恵みを未来に伝えるまち」

そんな佐久市を皆さんと一緒に未来へつないでいきたい

そのために、若いみなさんの声を聴かせてください

#### ● 本日の討議テーマ その1

### 佐久市の環境の 良いところ、悪いところ

↓

- 10年後も守り続けたい環境
- こんなまちになってほしい
- こんな取り組みや活動が広がっていてほしい
- 新しくこんな取り組みが実現すると良い

など

あまり難しく考えずに、  
佐久の環境について、感じることを、思うことを  
自由に意見してください。

#### ● 本日の討議テーマ その1

##### ■ 環境基本計画のカバーする分野として

地球温暖化、気候変動	二酸化炭素、化石エネルギー、太陽光発電、再生可能エネルギー、水素エネルギー、省エネ・節電、COOL CHOICE、電気自動車、燃料電池自動車、建物の省エネ化、森林吸収、集中豪雨による災害・防災対策、熱中症対策 など
ごみ資源循環	ごみ減量、ごみの分別、使い捨てプラスチック、資源ごみ、リサイクル利用、食品ロス、海洋プラスチックごみ、3R、エコバッグ、もったいない など
自然・みどり生物多様性	みどりの減少、荒船山、双子山、旧美笹自然観察園、里山、神社仏閣の樹林、千曲川、水辺、ため池、湧水、希少な動植物、外来生物、自然とのふれあい、公園、街路樹、フラワーロード など
安心・安全、快適	大気汚染、光化学スモッグ、PM2.5、水質汚濁、地下水、水資源の保全、騒音・振動、化学物質、環境基準、ごみのポイ捨て、美化清掃、まちなみ景観 など
エコ活動環境学習	エコなライフスタイル・ビジネススタイル、環境教育、環境学習、環境講座、環境イベント、環境リーダー・ボランティア、環境情報、パートナーシップ など

## ● 本日の討議テーマ その2

佐久の環境をより良いものにしていくためには、行政だけでなく、市民や事業者の協力が不可欠

- 省エネ行動やごみの減量化や分別などの日常的な環境活動については、習慣として定着している。
- 地域ぐるみでの環境活動については、参加率が低い。

↓

● マンパワーを必要とする環境活動や、より積極的な省エネ行動やごみ減量活動を進めていくためには、参加率の向上に向けた工夫が必要

## ● 本日の討議テーマ その2

### ■ 環境活動への参加の状況 (佐久の環境に関する意識調査 R4 より)

活動内容	取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組みのほしい	無回答
①自宅の節電や節水のカーテンなど開け閉めしている	50.7%	33.9%	13.2%	0%
②車検を受ける際、省エネマークなどを参考にして環境に優しい商品を購入している	33.9%	54.4%	9.0%	1%
③風向きによって自宅や職場周辺がゴミボックスを確認している	48.4%	44.7%	5.9%	0%
④乗車と自転車(WBC)を確保して、車中泊対策をしている	49.9%	41.4%	7.2%	0%
⑤地域の資源集積所に参加している	47.5%	31.6%	18.8%	2.1%
⑥公園や川などの地域の清掃活動に参加している	41.9%	35.3%	21.1%	2.8%
⑦花植えや植樹などの地域の緑化活動に参加している	19.4%	42.6%	33.2%	5.8%
⑧樹林や水辺などの自然環境の保全活動をしている	11.4%	44.2%	38.0%	6.8%
⑨環境に関する学習講座、講演会、自然観察会に参加している	7.7%	47.7%	43.2%	0.0%
⑩外来生物防除など、生物多様性の保全活動をしている	6.8%	41.2%	44.0%	5.4%
⑪その他				96.2%

## ● 本日の討議テーマ その2

### ■ なぜ環境活動に参加しないのか？ (知識研調べ)

情報発信	活動内容・活動のイメージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近年～中間世代の働き方が多様になり、活動に参加できない。</li> <li>● コミュニティと地域の環境について知る必要性がない。</li> <li>● 環境に対する認識が低い。</li> <li>● 環境活動に参加することが目標がない。</li> <li>● 環境活動は男性がするものという固定観念がある。</li> <li>● 地区ごとに生活圏や行動圏が異なる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分には馴染みがない活動が多い。</li> <li>● 今の人は自然を知らない、敬遠するも自然と切り離されていく。</li> <li>● 自然環境に入ると人が少なくなるなど、単独の地域への参加が難しい。</li> <li>● 集合住宅の居住者は地域の活動に参加していかない。</li> <li>● 専門的な活動のイメージがある。</li> <li>● 一人で参加することを敬遠している。</li> <li>● 活動が楽しくない、楽しめない。</li> <li>● 無難では活動に参加していかない。</li> <li>● 自分の家の周りには整備がすすんでいないが、地域の活動には参加しない。</li> <li>● 参加回数などはあっても活動ははじけてくれるが、実際の活動はしていかない。</li> <li>● 文字・図解の活用があり、新しい参加者を呼び込むことに対応できない。</li> <li>● 参加費を安く見えており、参加することになりたくない。</li> <li>● 活動の入り口が分からない。</li> </ul>
情報発信	参加するまでのプロセス
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入手・経路の問題があり、新しい参加者を呼び込むことに対応できない。</li> <li>● 以前ほど環境問題が取り上げられていない。</li> <li>● 市のホームページから情報が届いていない。</li> <li>● 市広域外からは情報が伝わらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動の成果が見えない。また、成果があっても不明瞭ではない。</li> <li>● 広域で募集をかけても参加者が集まらない。</li> <li>● 社会の中で情報発信に特長(メディアの活用機会)がある。</li> <li>● 興味があれば、自ら情報を検索しない。</li> <li>● 一人で参加することを敬遠している。</li> <li>● 活動に参加はあっても参加のきっかけがない。</li> <li>● 参加するメリットが感じられない。</li> </ul>

## ● 本日の討議テーマ その2

市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントアイデア、情報発信のアイデアは？

- 市民の省エネ行動やごみ減量の行動を習慣化させるための工夫・アイデア
- 現在、実施している環境イベントの参加率向上に向けた工夫・アイデア
- 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫
- 継続できる活動でも、単発イベントでも、思いついたことを、まずは出し合ってみよう

## ● 本日の討議テーマ その2

### アイデア出しのヒント

公式Facebook、公式Twitterの登録者数、公式Youtubeの再生回数を上げるための工夫

Youtube、インスタなどの画像、動画の活用アイデア

## ● 本日の討議テーマ その2

### アイデア出しのヒント

楽しい、面白い、満足感(メリット)が得られる、継続できる、仲間に参加できる

子どもが興味を持つ活動  
家族で参加できる活動  
友達同士で参加できる活動

環境+a(スポーツ、グルメなど)のコラボ

## ● 皆様をお願いしたいこと

- 発言をしたい時は、挙手アイコンを手を振って司会者に合図してください。
- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。



## ● 意見内容

### 1. 佐久市の環境の良いところ、悪いところ

環境基本計画のカバーする分野より、参加者の興味のある内容の中で「地球温暖化」「ごみのポイ捨て」について普段どのように感じているか、意見を聞いた。

#### 【意見要旨】

#### 1-1. 地球温暖化について

参加者の皆さんから、地球温暖化について感じるごととして、以前と比べ猛暑日や熱帯夜が増加したという意見が出ました。また、自分のまわりでは温暖化や節電に対する意識があまり高くないと感じられる、温暖化は生態系にも影響を及ぼすためこのままだといけないという危機感があるという意見も出ました。

参加者の皆さんが普段行っている対策として、なるべく電車・自転車・徒歩で移動したり、エアコンは極力使わない・使用していない部屋の照明をこまめに消すなど節電を心がける、マイバック・マイ箸持参によるプラスチックごみ等の排出削減に努める、余分な買い物はせず食品ロス防止をしている等の意見が出ました。

今後、取り組んだほうがよいと思われる対策等として以下のような意見が出ました。

- ・レジ袋削減促進のため、有料レジ袋の金額を高くする
- ・食品ロス防止のため、賞味期限が近い食品は割引販売を行う
- ・節電対策のため、公共施設のトイレの照明を人感センサー機能のものにする
- ・エアコンの設定温度を適温にする
- ・牛乳パックのリサイクルやペットボトル等の回収の取組を積極的に行い、消費者のリサイクル意識を高める

いただいたご意見は、省エネルギー化の推進（家庭・事業者・公共施設の省エネルギー化の促進など）等の脱炭素社会の実現に関する取組をはじめ、3Rの推進（食品ロス削減の推進、プラスチック使用削減の推進など）等の循環型社会の実現に関する取組、環境に配慮した行動の実践（環境負荷の少ないライフスタイル・ワークスタイルへの転換、環境に配慮した活動への支援）等の環境保全活動の拡大に関する取組内容の検討に反映していきます。

#### 1-2. ごみのポイ捨てについて

ごみのポイ捨てについて感じることは、道路脇・通学路・田んぼのあぜ道・山道などの比較的人目が見つからない場所に、タバコの吸殻やペットボトル等が捨てられているのを見かけたことがあるという意見が出ました。また、地域のごみ拾い活動を通じて、ごみのポイ捨てに関心を持つようになったという意見も出ました。

今後、地域社会などで取り組んだほうがよいと思われる対策等として以下のような意見が出ました。

- ・ごみ箱の設置箇所を増やす

- ・ポイ捨て問題に対し関心を持ってもらうため、地域で捨てられているごみの状況について体験や学ぶ機会をつくる
- ・ラベルレスボトルの普及など、これまで見なかった取組に気づいてもらうようにし、消費者の意識変容を図る

いただいたご意見は、快適な街並みの形成（まちの美化の推進など）等の安心・安全社会の実現の実現に関する取組、環境教育・環境学習の推進（学校における環境教育の充実、地域における環境学習機会の拡充）や協働による環境活動の推進（環境に関する情報受発信の充実、協働による環境活動、イベントの充実など）等の環境保全活動の拡大に関する取組内容の検討に反映していきます。

## 2. 市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントや情報発信のアイデア

### 2-1. 情報収集・発信について

市の取組に対する情報については、市長のTwitterや授業の一環として市の情報を収集したという意見がある一方、日常生活では特に市のHPやSNS等は見ないといった意見も出ました。今回のワークショップの情報についても、学校で配布・掲示されたチラシや先生から教えてもらうことで知ったなど、市の取組や環境問題については基本的には学校を通じて収集することが主であるという意見が出ました。

意図せず情報を収集した体験としては、インターネットのニュースサイトで面白そうな見出しに惹かれ、そこから色々と調べたり、関連情報を見たりした経験があるという意見が出ました。

環境問題に興味がない人でも情報を知ってもらうアイデアとして以下のような意見が出ました。

- ・SNS等の見出しは難しい単語を使わず、分かりやすい内容の文章にする
- ・YouTube等に人気のある有名人を起用する
- ・動物などの身近に感じやすい題材と絡め、情に訴えかける内容にする
- ・積極的に学校で環境問題についての講義等を行う

いただいたご意見は、環境教育・環境学習の推進（学校における環境教育の充実など）や協働による環境活動の推進（環境に関する情報受発信の充実など）等の環境保全活動の拡大に関する取組内容の検討に反映していきます。

### 2-2. イベントのアイデアについて

環境問題に興味がない人でも参加したくなるイベントのアイデアとして以下のような意見が出ました。

- ・散歩やお笑い、音楽など好きなものや趣味と絡めることで、興味を持つきっかけをつくる
- ・参加賞（地域で使える食事券、日用品、図書カード等）などがあれば参加のきっかけになる
- ・実験等の体験型イベントやスタンプラリーのような楽しみながら学び、参加できる内容のものにする

- ・学校でも環境関連のボランティア活動を増やす

いただいたご意見は、協働による環境活動の推進（協働による環境活動、イベントの充実など）等の環境保全活動の拡大に関する取組内容の検討に反映していきます。



## 【意見整理結果】

### 自己紹介と気になる環境問題

- 森林と水の循環について興味がある。
- 地球温暖化について興味がある。
- 海のごみの問題、地球温暖化、服のことについて興味がある。
- 食品ロスについて興味がある。

### 1. 佐久市の環境の良いところ、悪いところ

#### 1-1. 地球温暖化について

- 最近暑く、夜眠りづらいときが多い。以前はそのようなことはなかった。
- 最近35・36℃ぐらいの暑い日が続き、30℃ぐらいのときに外に出た際、ちょっと熱いなという程度にしか感じず、感覚が昔と違ってきていると感じた。
- 学校にいるとき、誰も使っていない教室で電気やエアコンがつけっぱなしとなっており、それを見てヒートアイランド現象の懸念を感じた。自分はそういった場合は消すようにしているが、全体としては温暖化や節電の意識があまり高くないと感じた。
- ニュースでウミガメの話題が取り上げられており、砂の温度でオス・メスが決まり、最近の温暖化によりメスしか生まれえない（温度が高いとメス）という情報を見て、このままだと生態系が崩れてしまうのではないかという危機感がある。
- 昔は外に出てもあまり汗をかかなかったが、最近ただいるだけで汗をかく。暑くなってきていると感じる。
- 自分で行ける範囲であればなるべく親の送り迎えがないように電車・自転車を利用している。また近場であれば歩きや自転車利用で対応している。
- 温暖化対策としては節電を心がけている。エアコンは極力使わないようにし、照明も使っていない部屋などはこまめに消すようにしている。そういった行動は自分の親から言われ、気を付けることで習慣づくようになった。
- 窓を開けるなどしてエアコンや扇風機などを使わないようにしている。
- コンビニ等でレジ袋・おしぼり・割り箸をもらわないよう（マイバック・マイ箸の持参）にし、プラスチックごみ等の排出削減に努めている。テレビ等で情報収集し、取り組んでいる。
- コンビニ等でもらう有料レジ袋は3円程度と安いため、もっと金額を高く（50円ぐらい）すればレジ袋の削減は進むのではないか。
- 食品は食べれるところはできるだけ食べるようにし、また余分な買い物はしない。食品ロス防止による温暖化対策を実施している。
- 賞味期限の近くなっている食べ物について割引販売を推進することで、食品ロスの防止に繋がるとのではないか。
- 駅のトイレの照明がつけっぱなしになっていたりすることもあったので、公共施設のトイレの照明を人感センサー機能のものとし、節電対策をしたほうがよい。
- 学校のエアコンの設定温度が低く、夏なのに長袖・長ズボンを着ている人が多い。寒くなりすぎない程度での温度設定にしたほうが健康面はもちろん、環境面にもいいと思う。
- 製品生産過程におけるCO<sub>2</sub>の排出を減らすためにも、消費者のリサイクル等の意識を高めてい

ければいいと思う。牛乳パックのリサイクルを昔から家庭で行っていたり、学校で空き缶やペットボトルのキャップの回収などもやっている。

## 1-2. ごみのポイ捨てについて

- 道路の端っこにタバコの吸い殻が落ちており、朝ボランティアの方が拾ってくれているのを見かけたことがある。
- 通学路の途中にタバコの吸い殻があったり、田んぼのあぜ道にペットボトルが捨てられている。
- コンビニで販売しているコーヒーのカップが歩道や車道に落ちており、通行の際に危ないと感じることはある。
- 家の近くに小川があり、そこに洗濯機が捨てられていたのを見たことがある。山道など人があまり通らないところにポイ捨てがされていることが多いと感じる。
- ごみ箱を増やすとポイ捨てが減るのではないか。
- 最近ごみ箱が設置されているところが少ないと感じる。テロ対策などの理由で少なくなっているということは聞いている。テロ防止のごみ箱を開発して、それを設置すればいいと思う。
- 自分が住んでいるまちでは、ごみが袋に包まれて落ちていたりしている。「防犯カメラで見張っています」・「懲役刑があります」という看板があるが、あまりその効果が見られない。
- 小中学生の頃に地域のごみ拾い活動があり、活動を通してごみが落ちていることを実感した。その経験からごみのポイ捨てに関心を持つようになった。自分の住むまちで捨てられているごみの状況について体験や知ることができる機会があれば興味を持つきっかけになるのではないか。
- ラベルレスボトルを最近見かけるようになった。そういった以前にはない違いに気づくことで、消費者の意識が変わってくるのではないか。

## 2. 市民や事業者、子どもから大人までが環境活動に参加できる仕組み・工夫、イベントや情報発信のアイデア

### 2-1. 情報収集・発信について

- 市の情報については、市長のTwitterで発信されているものを親が見て、それを教えてもらったことがある。
- 高校で探求の授業があり、市の森林の情報について市HPで調べたことがある。
- 日常生活では特に市のHPやSNS等は見ない。
- 今回のワークショップの開催は学校の先生からチラシが配られ、外来種駆除のイベント参加者や環境に興味がある人は参加してみてもどうかと勧められ、そこで知った。
- 環境の授業の際に先生から、今回のワークショップの開催情報を教えてもらった。また、教室に貼ってあるチラシを見て情報を知った。
- 学校のクラスルームでワークショップの開催情報を知った。
- ヤフーニュースの通知で面白そうな見出しがあれば興味を惹かれ、そこから色々と調べたり、関連情報を見たりすることがよくある。難しい単語がない・分かりやすい内容の文章だと興味が惹かれやすくなる。
- YouTubeに人気のある有名人などに出演してもらうことで再生回数も伸びると思う。それによ

って、その有名人のファンを中心にYouTubeの存在を知ってもらうことに繋がる。

- 動物（シロクマ等）が北極で生息できなくなるという記事を見たときに可哀そうだと感じた。情に訴えかけるような内容のものだと調べてみようと思うことがある。
- 環境問題に興味を持つきっかけとして、学校からの発信が大きい。学校で授業中に動画を見たり、環境について考える時間あったり、英語の授業でも食品ロス等の環境問題を扱った英文等、そこから興味を持つようになった。そのため、そういった環境について学ぶ・知る機会がないと興味を持つことがない。積極的に学校で環境問題についての講義等を行ったほうがいい。

## 2-2. イベントのアイデアについて

- 散歩が好きなので、山とかを散歩するイベントに参加することで自然と触れあい、興味を持つきっかけになるのではないかと。また、参加することで何か（地域で使える食事券等）もらえるようであれば参加のきっかけになる。
- 環境の仕組みについて学ぶのであれば、実験等の体験型イベントだと参加したくなるのではないかと。スタンプラリーみたいにイベント参加ごとにポイントが貯まり、貯まったポイントで何か（色んな人が使えるような日用品等）もらえるとゲーム感覚で楽しみながら参加できると思う。
- 学校からチラシが配られ、野沢会館で開催した外国の文化を学ぶイベント参加。外国には行ったことがなかったが、衣装体験や飲食体験があり、直接触れてみたりすることで外国の文化について体感することができた。
- お笑いが好きなので、芸人を呼んでSDGs関連の内容を含めながらネタをやってほしい。ほかにも音楽鑑賞会でオーケストラの演奏の間のトークでSDGsを絡めた内容について触れてもらうことで環境にも興味のない人でも触れてもらう機会がつかれる。
- 学校でも環境関連のボランティア活動を増やしたほうが良いと思う。
- 道に落ちているごみを拾ってきて、その重さに応じた景品（図書カード等）がもらえるイベントがあれば参加したいと思う。

## 今後に向けて

今回のワークショップで参加者より頂いた意見については、環境基本計画改訂（素案）の策定に活用させて頂くとともに、情報発信及び事業実施の現場における工夫、改善点、イベント等の企画アイデアとして参考にさせていただきます。